

## 御船があーっぱ少年少女剣道大会

8月21日、御船中学校で御船があーっぱ少年少女剣道大会が開催されました。「支えあおう熊本～いま心をひとつに」をキャッチフレーズに、御船があーっぱ剣道大会振興会が主催し、県内から26団体が集結。選手宣誓では御船翔鷹館の志村佑那さんが大きな声で試合に懸ける思いを宣誓しました。試合が始まると、選手達は自分を奮い立たせる掛け声と共に、目に見えないような竹刀さばきを見せるなど、練習の成果をぶつけ合いました。



気合いとともに面を打ち込む福味昂一君



草刈りに精を出すボランティアたち

## 能寛林育樹祭

山都町北中島能寛林地内で8月27日、能寛林育樹事業の下草刈りが、御船ライオンズクラブ（福富壽会長）主催で行われました。「能寛林」とは、平成8年に同クラブから町に寄付された町有林で、水源涵養を目的に、水源涵養保安と共に自然保護林として愛護されています。当日はクラブメンバーやボランティアなど約50人が参加。現場では、汗水流しながら、急斜面で刈払い機や長鎌を使って作業している姿がありました。

## 御船台団地でふれあい・夏祭り

滝尾地区で8月27日、第15回御船台団地ふれあい・夏祭り（御船台団地の親睦を深める会主催）が開催されました。この夏祭りは関係者の尽力のもと、少ない予算でほぼ手作りで行われ、子どもみこし隊パレードや早飲み大会など、様々な催しをみんな笑顔で楽しみました。新会長の田中平さんと前会長の古閑金光さんは参加者に向けて、「本団地も被害に合いましたが、この祭りをきっかけに復興に向けて頑張りましょう」と激励のあいさつをしました。



ステージで行われた大じゃんけん大会

## 観光ガイドへの感謝状贈呈式

8月30日、御船小学校3年生による観光ガイドへの感謝状贈呈式が行われました。7月21日の授業で、五人の先哲や様々な歴史的建造物をボランティアガイドしたのが、御船LOVEクラブ（沖田昌史会長）の大森政一さんと志水敏則さん。児童全員で挨拶した後に、代表して6人の児童がお礼の言葉を述べました。町の五人の先哲を初めて知ったと話す児童達に、2人のガイドは「町のことをもっと興味を持って知ってもらいたい」と語っていました。



感謝状を渡す江藤虎太郎君と杉山美心さん

## 下辺田見でそうめん流し

8月20日、下辺田見子ども会主催のそうめん流しが地元の協力のもと、下辺田見公園で開催されました。当日は大人から子どもまで約60人が参加。地元で準備した竹から流れるそうめんをすすり、バーベキューの肉を食べ、会場には参加者の笑い声が響き渡っていました。下辺田見区長の中熊博明さんと子ども会会長の山口知子さんは「災害でみんな元気がなかった。こういう時だからこそ、地域との親睦を深めることが大切」と地域での交流の大切さを話しました。



笑顔でそうめん流しを楽しむ子どもたち



1\_化石ひろばで説明を受ける参加者 2\_化石を採集する参加者たち 3\_恐竜観光ガイドの説明を受け、実際に化石を発掘している参加者

## 夏休み化石教室と化石発掘体験

8月21日、地震の影響で一般には封鎖されている化石ひろばで夏休み化石教室が開かれ、大人から子どもまで96人が参加しました。参加者は採集した化石がなんの化石なのか学芸員やスタッフから説明を受け、古生物への関心を深めていました。また、夏休み期間の8日間、町観光交流センター前広場で化石発掘体験が行われ、332人が参加しました。発掘を体験した宮原尚君（佐賀県）は「石を割る時の加減や判断が難しかったけど、とても楽しかったです」と感想を話しました。

## 元気広場

御船川河川敷で8月21日、町商工会主催の元気広場が開催されました。「ふるさとは宝物、仲間と笑顔に」をスローガンに、子どもたちに楽しんでもらい、思い出を作ってもらえるよう企画。魚のつかみどりやスイカ割りなどが行われたほか、テントサーカスも同時に開催。子どもたちは無料で提供されたかき氷とカレーを食べながら、イベントを楽しみました。夕方からは元気屋台村がオープンし、来場者は食事をしながら楽しいひと時を過ごしました。



広場では楽しいイベントがたくさん！



太鼓など多くの催し物が行われた

## 御船でマルシェ 夏祭りin若宮神社

8月21日、若宮神社で「御船でマルシェ 夏祭りin若宮神社」が開催されました。御船でマルシェ実行部主催で行われ、今回で5回目。神社の協力を得て行われた祭りでは、町内外から30店舗が集まり、太鼓や笛などのパフォーマンスが行われました。実行部の久保圭加さん（甲佐町）は「出店者から御船を元気付けたいと言っていたので、夏祭りを開催しました。今後も町の復興に向けて活動したいです」と話しました。